別記第七十四号の二様式（第五十五条関係）

日本国政府法務省

難　民　・　補　完　的　保　護　対　象　者　認　定　申　請　書（再申請用）

法　務　大　臣　　殿

私は、

□　①難民認定申請（出入国管理及び難民認定法第61条の２第１項の申請）

□　②補完的保護対象者認定申請（出入国管理及び難民認定法第61条の２第２項の申請）

を行うものとして、本申請書を提出します。

※上記のうち、どちらか一つにチェックをしてください。

①の申請をした場合には、難民の該当性及び補完的保護対象者の該当性について判断されます。

②の申請をした場合には、補完的保護対象者の該当性のみが判断され、難民の該当性については判断されません。

氏　　名		性　別	□　男 □　女
生年月日	（年）　（月）　（日）	現在の職業	
国籍・地域（又は常居所を有していた国名）		出生地	
住居地			
連絡先（電話番号）	□本人 □本人以外	（本人以外の場合）連絡先氏名	

	所持の有無		（ありの場合）番号		所持の有無		（ありの場合）名称
旅　　券	□なし	□あり		その他の所持する身分証等	□なし	□あり	
官　　用　　欄							

灰色

灰色

灰色

（注）用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とする。

【注意事項】

以下の注意事項をよく読んだ上で質問に答えてください。
読んだ注意事項には、チェック☑をしてください。

☐　この申請書には、あなたが主張したい事情を全て書いてください。

☐　回答に当たっては、該当する欄にチェック☑をし、記入部分には、具体的かつ詳細に書いてください。

☐　この申請書に事実に反することを記載したり、虚偽の資料を提出した場合は、審査上不利益を被ることがあります。

☐　在留資格を有していない方による３回目以降の申請については、「難民の認定又は補完的保護対象者の認定を行うべき相当の理由がある資料」が提出されない限り、送還は停止されません。申請書のみ提出した場合も上記資料に該当するか否かの判断は行いますが、その他に特に提出すべきと考える資料等がある場合は、申請書と共に提出してください。

1　前回の難民・補完的保護対象者認定申請後、国籍、家族構成、来日前の居住歴、来日前の最終学歴、来日前の職歴、日本の出入国歴、海外渡航歴及び宗教（宗派）に変更はありますか。

☐　いいえ

☐　はい

→変更事項はどれですか。

☐　国籍　　☐　家族構成　　☐　来日前の居住歴　　☐　来日前の最終学歴

☐　来日前の職歴　　☐　日本の出入国歴　　☐　海外渡航歴　　☐　宗教（宗派）

→変更内容を具体的に書いてください。

2　前回主張した迫害事情について、今回も引き続き主張しますか。

☐　はい

☐　いいえ

→「いいえ」と答えた場合は、その理由を具体的に書いてください。

3　今回は、新たに主張する迫害事情がありますか。

□　ない　→　４以降の質問に答えてください。

□　ある

（１）「新たな迫害事情」は、前回主張した迫害事情と関連するものですか。

□　いいえ

□　はい

（２）「新たな迫害事情」が発生した時期は、いつですか。算用数字により西暦で書いてください。

（３）「新たな迫害事情」をあなたが知った時期は、いつですか。算用数字により西暦で書いてください。

（４）「新たな迫害事情」が発生した場所は、どこですか。

（５）「新たな迫害事情」を前回の手続で主張できなかったのはなぜですか。

（６）「新たな迫害事情」の内容を具体的に答えてください。

ア　迫害を受けたのは誰ですか。

□　あなた自身

□　あなたの家族・親族

□　上記以外（具体的に書いてください。）

イ　誰から迫害を受けましたか。

□　前回申請と同様

□　上記以外（具体的に書いてください。）

ウ　どのような迫害を受けたのですか。

エ　迫害を受けたのは、なぜですか。

□　前回申請で主張した理由と同様

□　上記以外（具体的に書いてください。）

オ　迫害と関係する本国情勢に大きな変化があった場合、それを具体的に書いてください。

（7）あなたが本国に帰国した場合、誰から、どのようなことをされるおそれがありますか。

□　前回申請と同様

□　上記以外（以下に具体的に書いてください。）

ア　誰から

□　国家機関　（名称等　　）

□　上記以外　（名称等　　）

イ　どのようなことをされるおそれがありますか。

4　今回、新たに提出する資料はありますか。

□　ない

□　ある

→「ある」と答えた場合は、その資料の内容を具体的に書いてください。

資料名	内　容	前回までに提出できなかった理由	提出予定時期

灰色

5　現在の健康状態はどうですか。

□　良好　　□　不良

（1）具体的な病名・症状を記載してください。

（2）通院や医師による治療を受けていますか。

□　はい　　□　いいえ

6　難民調査官のインタビューを希望しますか。

□　はい　　□　いいえ

「はい」と答えた場合は、難民調査官がインタビューする際に通訳は必要ですか。

□　はい　→（1）及び（2）を回答してください。

□　いいえ　→（2）を回答してください。

（1）通訳は何語を希望しますか。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿語

（2）その他インタビューに関して希望する事項があれば、理由とともに書いてください。
（例：難民調査官や通訳人の性別、通訳人の国籍）

記載した内容に誤りがない場合には、以下にチェックをしてください。

□　申請書に記載した内容はすべて理解しており、誤りはありません。

本件申請書を代理人（注）が記載した場合には、以下の項目について記載してください。

（注）外国人が16歳に満たない者であるとき又は疾病その他の事由により自ら出頭できないときは、当該申請者の父、母、配偶者、子、又は親族が申請者に代わって申請することができます。

（記載・作成した人の氏名）

（申請者との関係）

申請者（代理人）の署名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日